

日本史(選択科目)

(出題内容・形式・配点) ※出題内容、問題番号、配点は2月1日実施分です。

内容	形式	配点	試験時間
I 東北地方における支配の変遷	記述	30	80分
II 荘園の変遷	記述	30	
III キリスト教伝来による影響(中世～近世)	記述	40	
合計		100	

【出題の基本方針】

教科書(『日本史B』)に準拠することを大原則とし、特定の教科書のみに取り上げられた事項は極力避けることを心がけ、原始・古代～近現代の全時代・全分野をカバーする出題を全日程を通して行うことを基本方針とした。また歴史用語の単純な暗記に終始することなく、時代観や歴史像をイメージさせる出題を心がけた。

【学習のポイント】

- ・まずは、教科書の本文を中心に、各時代と分野の歴史の展開を把握し、時代観・年代観を養うことが肝要である。
- ・漠然と、古代の、近代の、といった括りでなく、原始は先史・縄文各期・弥生各期・古墳時代各期の特性を体系的に把握すること、古代～近世、19世紀前半までの時代は各世紀を把握すること、1850年代の幕末・明治維新时期以降は1860年代、70年代といった10年ごとの展開を把握することが重要となる。言うまでもなく、この学習を効率的に進めるには、年表の活用が必須である。市販のものを利用するのもよいが、自身でオリジナルな年表を大学ノートに作成し、徐々に内容を充実させて、折に触れ目にするように心がければ、自ずから時代観・年代観が養成されることになる。また、年次を伴わない、各時代の代表的な文化財等については、該当する年表の箇所に、表にまとめておくのが効果的である。
- ・最終的には、正確な年次と歴史用語の漢字の表記が要求されることになるから、ケアレスミスを防ぐという意味合いからも、必ず書いて覚えるように心がける必要がある。